

個別食育施策の評価

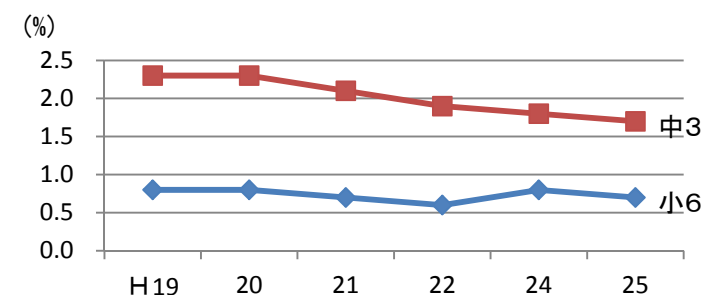
(1) 栄養教諭制度

【制度概要】(H17～)

目的: 子どもの食生活の乱れの改善等
 栄養教諭の職務: 子どもに対する食に関する指導
 給食管理 等
 配置数: 全国約5,000人(平26.4.1文科省)

【定量的評価】

○ 子どもの朝食欠食率は、小6は横ばいであるが、
 中3は改善傾向



(注) 全国学力・学習状況調査に基づき作成

【定性的評価】

○ 都道府県教委、市町村教委及び小学校において、
 食に関する指導内容が充実した等の評価あり
 一方、栄養教諭が学校と共同調理場(学校給食
 センター)を兼務することで業務が多忙であり、
 学校における食育指導の時間がとれないとの意見あり

学校等アンケートにより、栄養教諭配置の
 有無と食育指導の取組の違い等を調査中

(4) その他

ア 数値目標の達成度の測定

都道府県・市町村の食育推進計画に掲げた数値目標の実績値
 を毎年度把握せず、その達成度を測定していないところあり

(例) E県

- ・ 第2次計画(H24～28)の目標36指標のうち、H21～25の間で、一度も実績値を把握していないものが18指標(50%)
- ・ 18指標は、いずれも第1次計画(平19～23)から掲げられていたものと同旨であり、5年間未把握
- ・ 18指標の内容は、「朝食を食べる人の割合」等いずれも国の数値目標と同旨

実績を把握
 していな
 ければ、数値
 目標に係る
 事務事業
 の効果を把
 握できない

イ 食事バランスガイドに対する地方公共団体からの意見

(ア) 「食事バランスガイド」と「日本食品標準成分表」の整合性

食事バランスガイド: 副菜(野菜料理)として、いも、豆類、藻類(海草等)及びきのこ類を使用した料理を含む。
 「日本食品標準成分表2010」(文部科学省): いも、豆類、藻類(海草等)及びきのこ類は野菜類とは違う分類とされている。

⇒ きのこ類やいも類を野菜として取扱うかどうかについて違いがあると、栄養指導を行う側も、受ける側も混乱

(イ) 「食事バランスガイド」の「SV」という数え方が分かりにくい

「1日分の食事」として、主食(ごはん等)5～7つ(SV)、副菜(野菜等)5～6つ(SV)、主菜(肉等)3～5つ(SV)、牛乳・乳製品2つ(SV)、果物2つ(SV)と表記

⇒ 「1食当たり」何をどのくらい食べてよいのか分かりにくい。

食事バランスガイドの使い勝手についての意見あり

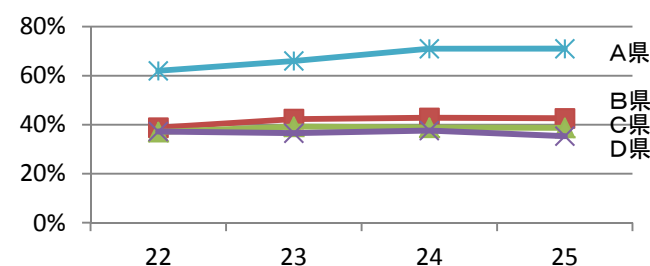
(2) 学校給食における地場産物の活用促進事業

【事業概要】(H23～25)※H26～スーパー食育スクール事業に一部移行

目的: 学校給食における地場産物の活用促進
 事業内容: 学校給食のメニュー開発コンテストの開催
 学校給食調理員を対象とした調理講習会の開催 等
 予算: 1,700万円(H25)
 事業実施主体: 都道府県学校給食会(以下「学校給食会」)

【定量的評価】

○ 事業を実施した学校給食会が所在する4県における学校
 給食での地場産物の活用割合は、A県が増加しているもの
 の、その他3県はほぼ横ばい



(注) 当省の実地調査結果に基づき作成

【定性的評価】

○ 本事業で開催した学校給食フォーラムのアンケートで、
 食育について理解を深める良い取組であるとの回答あり
 (H23・A県学校給食会)
 ○ 受講者から、自分の地域に活かしたいとの好意的意見あり
 (H23・B県学校給食会)

(3) 食品安全に関するリスクコミュニケーション

【事業概要】(H15～)

目的: 消費者の身近なリスクと食品安全に関する情報共有
 事業内容: 食品の安全性に係る意見交換会の開催
 予算: 7,300万円+2,900万円の内数(H26)
 事業実施主体: 消費者庁、食品安全委員会、厚労省、農水省

【定量的評価】

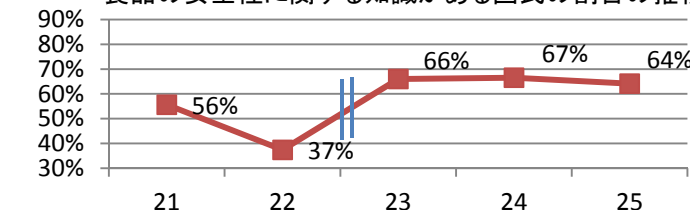
○ 原発事故の影響でH24以降、開催回数は増えている
 もの、食品安全に関する知識のある国民の割合は横ばい

表 関係省庁における食品の安全に関するリスク
 コミュニケーション開催回数 (回)

| H21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
|-----|----|-----|-----|-----|
| 67 | 50 | 108 | 209 | 148 |

(注) 当省の調査結果に基づき作成

食品の安全性に関する知識がある国民の割合の推移



(注) 1 食品安全確保総合調査等に基づき作成

2 H22以前とH23以降で実績値の把握方法が異なる。

【定性的評価】

○ リスキ参加者アンケートによると、回答者の多くが、提供
 された情報について理解が深まったと回答